



「千歳科学技術大学ライトアート工房」

みなさんお世話になっております。入社2年目になりました。カミノの田名網です。今日は私が担当させていただいている千歳科学技術大学様の部活を皆様へご紹介したいと思います。

今回ご紹介させていただきます部活は「ライトアート工房」様です。このライトアート工房様は、ここ最近聞き馴染みになってきました。プロジェクションマッピングをメインで行っている部活です。

部員は11名で、市内や千歳周辺地域で活躍をしています。もともとはサークルとして少人数で設立され、顧問の青木先生のもとと活動されていました。そして、約1年サークルとして活動しその後部活に昇格しました。現在部活としては2年目であわせると3年目になるそうです。また、今年もイベントをたくさん控えているようですので皆さんも見かけた際はぜひ応援してあげてください！

もしぜひこのプロジェクションマッピングを見たいという方は、千歳科学技術大学で毎年行われるオープンキャンパスで今年も出展をするようです。今年の近々のオープンキャンパスは6月17日です。

ぜひ学生たちが作った幻想的な世界にご覧になってみてはいかがでしょうか？

以上田名網でした。ありがとうございます！



< 営業部 : 田名網 >

「創業60周年にあたり」

3月16日に千歳の地で紙文具店として商いを始めてから創業60周年の節目の時を迎えることが出来ました。これまでお取引をいただいているお客様や仕入元であるメーカー・問屋の皆様からのご支援の賜物でございます。心よりお礼申し上げます。

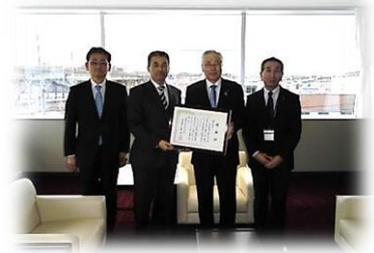
創業60周年の年に何か地域に足跡を残すことを検討して参りましたが、わが社の主力分野である教育に目を向けてみますと、まだまだ多くの子供たちが就学にあたっての援助を求めていることから、記念祝賀行事等は行わずに創業地である千歳市、営業エリアである恵庭市・北広島市に対しまして、奨学基金としての寄付を行なうことと致しました。



千歳市



恵庭市



北広島市

この先、70年を一つの目標に社員一丸となって地域に必要とされる企業として活動して参りますので、今後とも皆様には一層のご支援を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

< 代表取締役 神野 幹士 >

『 素材に注目！ 何からできているのか？ ～ セロハンテープの原料は紙と同じ？ ～ 』

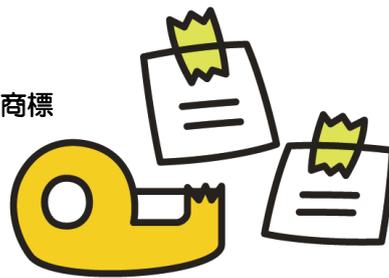
オフィスや学校、一般家庭などで最もなじみ深い文具のひとつといえば セロハンテープ ですね。さて、このセロハンテープは何からできているのかご存知ですか？セロハン（セロファン）という薄い膜の樹脂シートの片面に接着剤を塗ったもので出来ています。

薄く透明な樹脂シート**セロハンフィルム**は、「チップ」とよばれる木のくずから作られています。木材チップから「パルプ」という植物繊維を抽出し木材パルプに、これを溶かしてろ過した蜂蜜のような粘度を持つビスコースという液体がセロファンの原料。これを薄く伸ばすと、セロハンフィルムになります。粘着の部分の原料は天然ゴムと植物由来の樹脂（ほとんどはマツなどの樹液からつくられる天然素材）などからできていて、巻き芯の部分は、再生紙から作られています。

透明でツルツとした見た目からビニールやプラスチック類でできていると思っている方もいらしたかもしれませんが、このように天然素材を使ってつくられているため、廃棄後は植物と同様に微生物によって分解され土に戻ります。焼却時に有害ガスを発生することはありません。

ちなみに・・・話は少しそれてしまいますが

つつい使いがちの『セロテープ®』という名称は、ニチバン株式会社の登録商標ニチバンの商品以外はセロハンテープであってもセロテープではないのです。実は商標登録された固有の商品名なのに一般呼称として親しまれ、定着している名称には、他にも「マジック」や「ホッチキス」「ボンド」などがあります。



いつか機会があれば、そのような 文具たちの豆知識 などをご紹介してみましょ。

< 業務部 : 満保 >

『 心強いサポーターです 』

今回ご紹介するのは、デスクやチェアを扱うオフィス事業と、顕微鏡やICT 教具を扱う公共事業を手掛ける『株式会社 内田洋行』さんです。

「人の名前みたいな社名ですよ」と話すのは写真向かって右端の公共担当千秋さん。

社名の由来は、創業者の苗字「内田」と、中国語で「外国人の店」という意味がある「洋行」からとったとのこと。

当初は未知の領域へ挑むフロンティアの気概がイメージされる言葉だったそうです。

オフィス家具の販売のみならず、早くから教育関連にも力を注いでおり、現在は主に・公共関連事業・オフィス関連事業・情報関連事業の3事業に分かれています。

オフィス関連については昨今の働き改革にともない、オフィス環境、空間設計も見直されている中、レイアウトから商品の選定など、事細かく提案していただけます。

教育関連については教材教具、施設備品の販売はもとより、教育のICT化に対応した教育空間の構築や次世代教育に向けた備品の開発も行なわれています。

北海道支店は、サッポロファクトリーを拠点に、ICT 技術を駆使し、リノベーション、地域産木材活用などにもチャレンジしたオフィスになっており、デスクやチェアのショールームも完備。働き方改革推進のため、1 度足を運んでみてはいかがでしょうか。（※見学は事前予約制です）

《ご紹介いたします!》

写真右

小中高校 教材備品、施設設備担当
千秋さん

写真中

ICT、大学案件担当 菊池さん

写真左

オフィス担当 井原さん



慌ただしい4月が過ぎ、気持ちのいい5月がやってきます。新人の方や異動された方も、新しい職場にだいぶ慣れた頃でしょうか…。緊張がとけてきて体調を崩すことも多い時期です。休日には何かをリフレッシュするといいいましょネ。

発行元 : (株) カミノ

TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381

E-mail : kamino@kamino.co.jp

ホームページ : <http://kamino.co.jp/>

(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)